

企業主のための 高機能ASD者雇用マニュアルの作成

早稲田大学 教育・総合科学学術院

梅永雄二



目的と方法

- ASD者の就労における課題は先の見通しを持つことができない実行機能の弱さ、同僚上司のASD者に対する理解不足、そして職業スキルを獲得させる際の指導の仕方に問題があることが指摘されている(Keel・Mesibov・Wood,1997)。

- 通常の高校を卒業した者の中で、50%~75%のASD者は失業中であり、ASD者の就労における障害は、二次障害としての「うつ」や「不安」などの精神疾患が原因となっている (Hendricks,2010)。
- 適切なジョブマッチングがなされなかった、高機能であるにもかかわらず、簡単な仕事をさせられた、新しいスキルを学習するのに時間が足りなかった、職場での変化に慣れるまでに同僚上司に寛容さなかった、同僚上司がASDの特性を理解してくれなかった (Muller,2003)。

- 以上のことから、海外における高機能ASD者の雇用に関する文献を精査し、企業主にとって有効な内容と考えられる内容をピックアップし、就労上の課題と支援についてまとめた。
- その上で、企業が高機能ASD者を雇用する上での対応すべき合理的配慮についてのマニュアル作成することを目的とした。

結果1 (Keel・Mesibov・Wood, 1997)

1. Predictable(仕事の見通しを持たせること)

TEACCH Autism Programが始まったころは、反復的な仕事 ASD者に合っているものと考えられていた。しかし、予想に反して、仕事の見通しを持たせることが最も重要な要素であるということがわかった。

2. Receptivity of the employers and coworkers

(雇用主および同僚上司の理解)

ASD者の特性を理解し、彼らが働きやすいような環境を構築しようとする雇用主および同僚上司の必要性が重要である。

3. Clearly defined work tasks(仕事内容の構造化)

ASD者は環境刺激に気を散らされ、するべき仕事に対する見当識を失う可能性がある。よって、環境および仕事そのものを視覚的にわかりやすく設定する。

そして最も大切な要因は、「ロングタームサーポート」である。

結果2 (Hendricks,2010)

1. 職場配置には、仕事の内容や職場環境に関する考慮が必要である。
2. 適切な仕事とは、予測可能であり、ASD者のスケジュールに合わせることができるものである。
3. 仕事内容は明確にわかりやすいものであり、気が散ることが少ない場所である。
4. 仕事を完了させるためには、一貫したスケジュールを提供することで職務の予測可能性を高めることができる。
5. 仕事は最小限の対人関係で済むようにし、仕事を覚えるための十分な時間を確保し、過度の感覚的刺激がないことが望ましい。

結果3 (Mullerら、2003)

1. 適切なジョブマッチング(サバンのな技術スキルの構築、最小限の人とのかかわり、明確で具体的なルーチン、新しいスキルを学ぶための時間の猶予、フレキシブルなスケジュール)
2. 個別化されたASD者への就労援助(仕事を探す援助をすること、現場でジョブコーチをすること、同僚上司の関わり方について援助、助言をすること)
3. コミュニケーションのサポート
4. ASDに関する理解研修、同僚上司の受け入れ態勢の構築

考察

- ハードスキル（仕事の能力）のみではなく、ソフトスキル（業務以外の時間）のアセスメントも重要
- 昼休みの過ごし方なども支援が必要
- 最も大切な合理的配慮は、コミュニケーションサポート
- 「行間を読ませるコミュニケーションは禁止」「曖昧で不明確な指示は禁止」「言語指示だけではなく、視覚的で体験的指示を行う」
- 環境から生じる感覚刺激（音、視覚刺激、匂いなど）の制御
- 同僚上司に対するASDの理解研修

参考文献

- 1)Hendricks,D.” Employment and adults with autism spectrum disorders: Challenges and strategies for success”. Journal of Vocational Rehabilitation 32 (2010) .p.125–134
- 2)Keel,J.K., Mesibov, G.B. Woods,A.V. “TEACCH-Supported Employment Program”. Journal of Autism and Developmental Disorders, Vol. 27, No. 1 (1997).p.3-9
- 3)Muller,E. Barbara,A.S, Burtona,A. Yates,G.B. “Meeting the vocational support needs of individuals with Asperger Syndrome and other autism spectrum disabilities”Journal of Vocational Rehabilitation 18 (2003).p. 163–175
- 4)Wehman, P., Schall,C. Carr, S. Targett, P. West, M. and Cifu, G. “Transition From School to Adulthood for Youth With Autism Spectrum Disorder: What We Know and What We Need to Know”. Journal of Disability Policy Studies (2014).p.1–11